

ミアイゴは7月9日の出現個体では40~42.5mmに、8月15日では45~47.5mmにピークがみられ、両者が同一産卵群であるならばアミアイゴの成長はアイゴに比べて遅いことが推測される。しかし、このことについてはより詳しい検討が必要と思われる。7月9日に採捕したハナアイゴの出現個体数のピークは60~62.5mmにみられ、他種に比べて多少大型である。

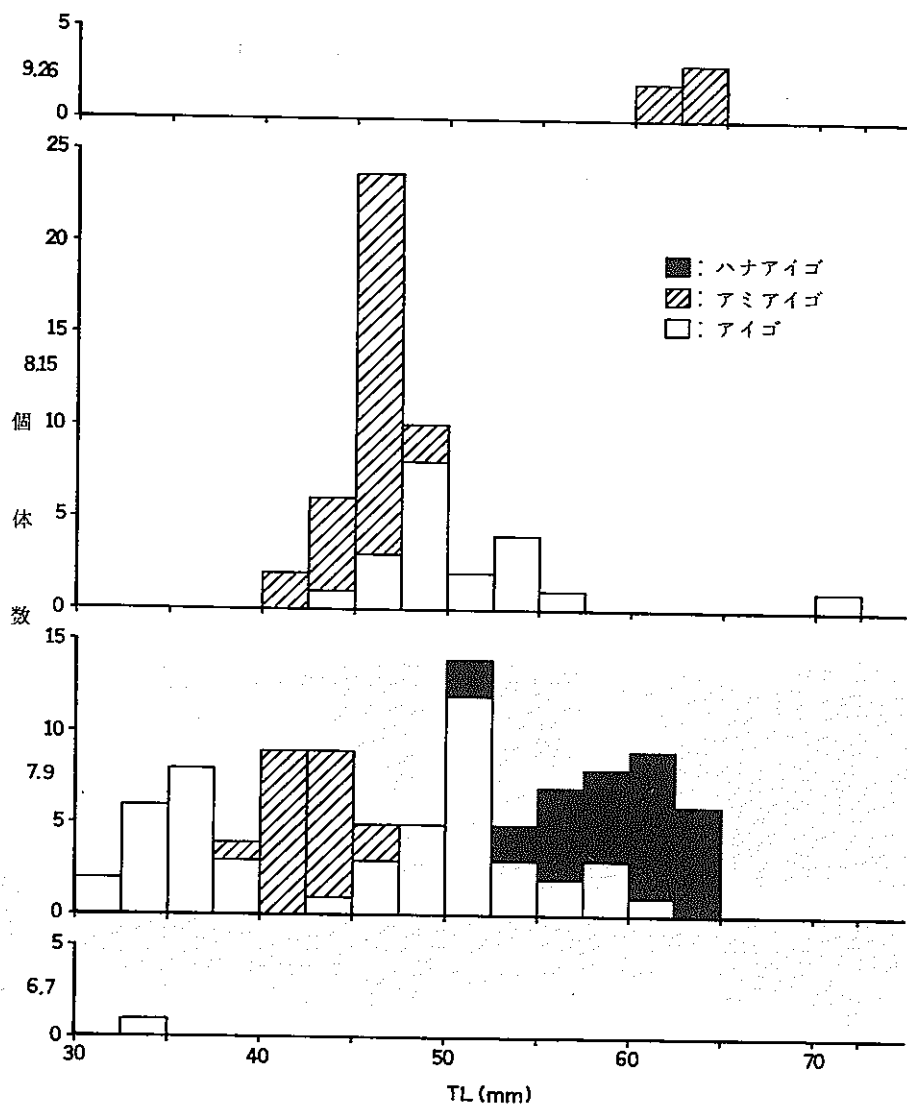


図8 アイゴ類の体長組成別出現個体数

### 5. 人工礁調査

1984年10月23日に定点(図1)に設置している1.5m角型礁の調査をおこなった。魚類の網集状況は表8に示すとおり約12種、84個体の魚が網集しており、前年度と同様にヨスジフェダイやアジ類などが多くみられた(写真1.2)。